

かつたっ子



# 15の春プロジェクト

平成 29 年 2 月 24 日 発行

勝田中学校区保幼小中連携  
つなぐ推進委員会だより  
発行責任者 No. 6  
勝田中学校長 西村 睦美

2 学期以降の「かつたっ子 15 の春プロジェクト」の取組です。勝田中学校区のつながりを深めています。

## 2 学期の取組

10 月 14 日（金） 14 : 00 ~ 15 : 15 勝田小学校体育館

## かつたっ子 15 の春プロジェクト PTA 人権講演会



人権教育講演会『心と命の教育講演会』を開催しました。NPO 法人ジェントルハートプロジェクトの小森美登里さんを講師にお招きして「やさしい心が一番大切だよ」という演題でお話をいただきました。

いじめにより奪われたかけがえない命、未来を奪われた子ども、大切な家族を奪われた親の気持ち、

静かに、やさしくお話しいただく中にしみ通るように「命の重み」が伝わってきました。同時に、「人の気持ちを考えることの意味」をしっかりと考えさせていただいた時間になりました。

こうした学びを通して、子どもたちがこれからの人生を「自分も人も大切に」生きていく、「いじめはしない、させない、許さない」姿勢を育てていきます。ご家庭でも日頃の話題にしてください。



## かつたっ子授業のスタンダード

かつたっ子 15 の春プロジェクトでは、小学校から中学校へと授業の流れをスムーズにつないで、子どもたちの学校での学びを充実させるための授業づくりを進めています。「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業づくり」「ICT 機器の活用を推進する授業づくり」「生徒が活動したり考えをきちんと説明したりする場面を多くする授業づくり」「特別な教科“道徳”を生かして豊かな心を育てる授業づくり」など、子どもたちが楽しいと感じ、十分に理解できたと実感できる授業になるよう、さまざまな工夫を考えています。そのため、授業研究会を互いに参観しています。

## 勝田中学校 ICT 教育推進モデル校事業の授業研究会

10 月 26 日（水） 5 校時（授業公開）、6 校時（全員参加研究授業）をしました。小学校からもたくさん参加して、生徒たちが ICT 機器を使いこなして授業をする様子を見ていただきました。次年度に向けても、小学校・中学校で ICT 機器を使った授業を工夫します。



## 勝田東小学校ユニバーサルデザイン教育研究発表会

11月30日(水)午後から、勝田小学校と勝田中学校の教職員が全員参加して研修をしました。ユニバーサルデザインのモデル授業を参観後の講演会では、川崎医療短期大学医療保育科の重松孝治先生がユニバーサルデザインの考え方を授業や学校生活でのいろいろな場면을例に挙げながら、分かりやすく説明してくださいました。



「どの子どもわかる授業」を実現するために教職員もしっかりと研修を積みます。勝田ひまわり園・勝田小学校・勝田東小学校・勝田中学校と、勝田地域の子どもたちの15年間を通してかつたっ子の豊かな学びがひろがるように園と小中学校が手をつなぎます。今後とも、園・小・中学校の指導や教育にご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 勝田中学校文部科学省人権教育指定校事業の研究発表会



12月8日(木)13:00~1,3年(授業公開)、14:00~2年授業(全員参加研究授業)を行いました。1年生は「共に生きる心(ユニバーサルデザインの社会)」、2年生は「いじめをなくすために行動を起こそう」、3年生は「さまざまな人権課題について調べ、差別や偏見のない社会をつくろう」をテーマに学習しました。生徒たちは、タブレットを使った発表やロールプレイによる表現、パソコンを使ったプレゼンテーションなど、自己表現の仕方も工夫して授業に参加しています。これからも、自分の意見を述べたり友だちの意見を理解したりといった学習を深め、社会生活の基本となるコミュニケーション力を育てます。

保護者の皆様方も、園や学校の公開や参観授業をはじめ、いろいろな機会に園・学校に来ていただき、子どもたちの成長を見守って下さい。

保護者の皆様方も、園や学校の公開や参観授業をはじめ、いろいろな機会に園・学校に来ていただき、子どもたちの成長を見守って下さい。

### キャリア教育を進めます



12月13日(火)9:15~  
かつた市民センター  
岡山理科大学 石垣忍教授



勝田小学校・勝田東小学校の5,6年生と勝田中学校の全校生徒が、石垣先生の『恐竜の調査は「同じ釜の飯を食う」ことから』と題した講演を聞きました。長年、モンゴルで行っている恐竜の骨や足跡の化石発掘調査をしてこられた石垣先生の体験談や恐竜に関する貴重なお話に子どもたちも惹きつけられ、目を輝かせて聞いている姿が印象的でした。

夢講座は、さまざまな分野の仕事に携わっておられる人生の先輩方のお話を聞いて、子どもたちがより広い視野をもって自分の将来を考え、目標や夢をもって勉強することの大切さを実感するための学習です。夢をもつためには、幼い頃からの家庭での対話が欠かせません。小学校・中学校では、学校だけでなく、生涯にわたっていろいろな場で学習するキャリア教育の視点を育てます。

# 勝田ひまわり園と、つながります

幼児期と中学校期も  
つながっています。

11月9日(水) 10:40~11:30、勝田ひまわり園の遊戯室で、保育参観日の講演会がありました。『手を抜いたら 手がかかる』と題して、私がお話をさせていただきました。

中学生を見ていると、幼児期からの過ごし方がよく分かります。私も子育てを通してたくさん失敗を繰り返してきましたが、自分からは何も語れない、自分のことばで明確に自己主張ができない時期が子どもたちにとってどんなに大切な時間だったかを痛感しています。幼いときのこういう接し方が、中学生の今となってこういう形で表れるのだと、何度も反省しました。そんな私の実感をお話した50分間。ひまわり園の保護者の皆さん、お父さんもお母さんも、本当に一生懸命、集中して聞いて下さいました。子育ての、教育の原点を感じた時間でした。ありがとうございました。

ひまわり園の運動会に初めて行かせていただいたときにも、小さなお子さんたちが一生懸命ひたむきに集団演技をしている姿に、日々の園での生活や指導が成果となって表れていることを実感し、感心しましたが、今回も同じでした。「かつたっ子15の春プロジェクト」で子どもたちの15年間の学びと育ちをつなぐ取組を進めていますが、“原点はひまわり園にあり”でした。幼児期の子どもたちにとって日々の積み重ねがどんなに重要で、家族の方々の温かく愛おしい気持ちがどんなに大きいか十分に伝わり、それらを原点にして、個性を大切にしながら、社会という集団生活に適應する教育をバランスよくつなげていく事の大切さも再認識できました。

## 3学期の取組 保小交流会で、つながります



幼児期から小学生へ  
と確かな成長を…

1月27日(金)勝田小学校1,2年生が勝田ひまわり園のゆり組さんとの交流をしました。ゆり組さんは、4月には小学校に入学します。小学生になったら一緒にお勉強する先輩たちと歌やゲームを楽しみました。

交流会の進行も勝田小学校2年の児童が行い、小学校で学ぶ先輩としてしっかり成長した姿を見せました。1年生は「サラダでげんき」、2年生は「エルマーのぼうけん」を発表。ゆり組さんは「にじ」という歌を元気に発表しました。そのあと、みんなで4チームに分かれてボール送りゲーム、次に、みんなで輪になって元気に歌を歌いました。最後に、ゆり組さんから小学生にプレゼントの贈呈もありました。勝田ひまわり園で集団生活の基本を身につけ、小学校で学びの構えをしっかりと固め、中学校で社会を生き抜く力へと成長していく『かつたっ子15の春プロジェクト』をつないでいきます。各ご家庭でも、『かつたっ子15の春プロジェクト 学びと育ちの連携表』を参考に、健康な体と心を育てていただきますよう、よろしくお願いいたします。

### かつたっ子15の春プロジェクト 学びと育ちの連携表

中学校のプレEnglish授業で、この連携表を「下敷き」として使ってくれている6年生がいました。学校でも、家庭でも、この連携表がベースになっています。かつたっ子の子育てのめあてにしましょう。

# 笑顔が輝く

1月26日（木）小学校6年生が中学校に体験入学しました。

## 中学校の小学生ルームで英語学習！



勝田小学校と勝田東小学校の6年生が、4月からの中学校での学習を控え、中学校の英語学習プレ体験をしました。アルファベットの大文字を学び、中学校入学前に正しく身につけるよう、家庭学習のプリント



も持ち帰りました。小学校の担任の先生を通じて、中学校に提出します。

明るく元気な6年生

新しい学習指導要領では、小学校5、6年生に教科としての英語科学習が導入される予定です。その時点から、中学校英語では授業時間の全てにわたって英語だけで授業を進めていくという目標も示されています。現在、小学校で指導されているのは「外国語活動」の時間です。それが、「英語科」授業に変わります。かつたっ子15の春プロジェクトでは、少しずつ「教科としての英語科」の学習を進めていく準備をします。中学校では、小学生が英語の教科学習を体験できる小学生ルームを準備しています。小学校での学習では、子どもたちが英語の授業に興味を持って取り組み、英語でコミュニケーションを深めようとする基礎力を育てることになります。小・中が連携して、子どもたちの英語基礎力を育てます。

## 第3回合同研修会

2月20日（月）勝田中学校で「かつたっ子15の春プロジェクト」の第3回合同研修会を開催しました。中学校の5校時授業を勝田ひまわり園・勝田東小学校・勝田小学校の先生方に参観していただき、その後、校区の先生方の研修を行いました。



勝田中学校では、平成28、29年度の2年間、ICT教育推進モデル校事業として生徒が意見を発表したり、互いの意見交換をしたりする活動を増やす授業改善を進めています。『かつたっ子授業のスタンダード』をベースに小学校と授業の流れを共有して、生徒個々の力を伸ばす授業づくりに取り組んでいる様子を見ていただきました。1年生は理科「大地の変動」、2年生は数学「確率」、3年生は社会「国際連合」の授業でした。子どもたちが「わかる」子どもたちが「できるようになる」授業をこれからも小中で協力して工夫していきます。

研修会では、夏休み中に行った第1回合同研修会で教員各自が「2学期から努力して取り組むこと」を書いたがんばりカードをもとに、どのように取り組み、成果と課題はどうだったかを中心にグループ協議をしました。来年度に向けて、さらに「かつたっ子」の力を伸ばすために力を注ぎます。その後、本年度の各部会の取組報告と、来年度から2年間、美作市教育委員会指定の小中一貫教育の研究実践について、その進め方を確認しました。

来年度も、勝田ひまわり園と2小学校とのつながり、2小学校間とのつながり、2小学校と中学校のつながり、園・小・中のつながり、保護者・地域とのつながり、さまざまな「つながり」を大切にして、さまざまに「つなぐ」取組を大切にします。保護者の皆様方も、『かつたっ子15の春プロジェクト』の取組をご理解・ご協力いただき、共に手を携えて、子どもたちの豊かな未来を切り拓いて参りましょう。